

令和5年度京都府精神障害者ピアサポート専門研修プログラム

○ 第一日目

令和6年2月2日

	科目	時間	時間数(分)	講師	獲得目標
1	基礎研修の振り返り	10:00～10:30	30	田中 稔一 さん (京都市中部障害者地域生活支援センター なごやか)	○ 基礎研修で学んだことを振り返る
2	ピアサポートの基礎と専門性	10:30～11:10	40	岡山 祐美さん (日本自立生活センター) 桐原 尚之さん (京都ユーザーネットワーク)	○ ピアサポート活動の誕生について、背景や主張を通じて理解を深めていく ○ ピアサポートは、私の問題ではなく、私たちの問題に対するアプローチであること、あるいは、私個人だけのための動機ではなく私たち全体のための動機に基づいて行動しなければならない点について理解を深めていく ○ リカバリーストーリーについて学ぶ
3	演習①	11:10～12:10	60	講義：「ピアサポートの基礎と専門性」の振り返り、気づきの共有	○ 障害種別を越えて共通した考え方を ○ リカバリーと自立について考える
	昼休憩	12:10～13:10	60		
4	ピアサポートの専門性の活用	13:10～13:50	40	白田 幸治さん (京都ユーザーネットワーク) 田中 稔一さん (支援センターなごやか)	○ ピアサポートの専門性の理論と実践報告から学ぶ ○ 多様性の理解を深める
5	演習②	13:50～14:20	30	講義「ピアサポートの専門性の活用」の振り返り、気づきの共有	○ ピアサポートの専門性について事例をとおして考える
6	関連する保健医療福祉の施策の仕組みと業務の実際	14:20～15:00	40	長谷川 唯さん (立命館大学生存学研究所)	○ 障害者権利条約理念を踏まえた保健医療福祉施策の動向について学ぶ
7	演習③	15:00～15:40	40	関連する保健医療福祉施策の仕組みと業務の振り返り	○ 当事者主体で制度を活用するための方法について考える
8	ピアサポートを活用する技術と仕組み	15:40～16:20	40	山崎 理恵さん (相談支援事業所おうばく) 上原 さん (綾部市ピアサポーター)	○ ピアサポーターがいることで、専門職や組織、社会にどんな効果があるのか ○ ピアサポーターとの協働にはどんな形があるのか ○ ピアサポーターが活動しやすい環境づくりに必要なことは何かについて学ぶ
9	演習④	16:20～17:00	40	ピアサポートを活用する技術と仕組み、気づきの共有	○ ピアサポーターが活動しやすい環境づくりについて、『合理的配慮と主体性の尊重』を軸に考える
10	演習⑤	17:00～17:20	20	演習③と演習④の共有	
	事務連絡	17:20～17:30	10		

○ 第二日目

令和6年2月9日

	科目	時間	時間数(分)	講師	獲得目標
11	ピアサポーターとして雇用される	10:30~11:00	30	高見 啓由さん (京都ユーザーネットワーク)	○ 講師のピアサポーターとして、雇用、ボランティア、友人として関わって経験からピアサポーターとして働く、寄り添うことについて学ぶ
12	演習⑥	11:00~11:40	40	「ピアサポーターとして雇用される」の振り返りと気づきの共有	○ 講義を聴いた感想を話し合い、講義の理解を深める
13	ピアサポーターを活かす雇用	11:40~12:10	30	太田 智之さん (相談支援事業所おうばく)	○ 雇用場面におけるピアサポート活動がどのように展開されていくのか ○ 雇用するということがピアサポーターと雇用主双方にどのような意味合いをもたらすのかについて学ぶ
14	演習⑦	12:10~12:50	40	「ピアサポーターを活かす雇用」の振り返りと気づきの共有	○ 講義を聴いた感想を話し合い、講義の理解を深める
	昼休憩	12:50~13:50	60		
15	セルフマネジメントとバウンダリー	13:50~14:20	30	田中 稔一 さん(支援センターなごやか) Chicoさん(支援センターなごやか) オトコサン(支援センターなごやか) すなふきんさん(支援センターなごやか)	○ 支援センターなごやかの実践をとおして、セルフマネジメントとバウンダリーの理解を深める
16	演習⑧	14:20~15:00	40	「セルフマネジメントとバウンダリー」の振り返り、気づきの共有	○ セルフマネジメントの経験 ○ セルフマネジメントが困難で周囲からの配慮が必要な場面 ○ アンガーマネジメントの成功、失敗の体験について話し合う
17	チームアプローチ	15:00~15:40	40	白田 幸治さん (京都ユーザーネットワーク) やまさきさん(生活訓練いろは) マークさん(生活訓練いろは)	○ チームアプローチの理論について学ぶ ○ 生活訓練いろはの実践活動について学ぶ
18	演習⑨	15:40~16:40	60	講義「チームアプローチ」の振り返り、気づきの共有	○ ピアサポートと専門職が協力して取り組む事例や対立する事例をとおして学びを深める
	閉会式・事務連絡	16:40~17:00	20	修了証書交付(会場のみ)	

※ 2、4、15は、ピアサポーター又はこれに準じる障害当事者が講師であること

※ 17は、ピアサポーター又はこれに準じる障害当事者及び専門職が講師であること